

名古屋大学大学院環境学研究科・助教 公募要領

1	募集件名	助教の公募	
2	所属	地球環境科学専攻 地球環境システム学講座	
3	募集内容	<p>[職務内容]</p> <p>地球環境システム学講座では、地球を多数の地域システムが統合された一つのシステムと捉え、持続可能な地球・社会をデザインする研究に取り組んでいます。特に土壌・生態系・人間社会を地域システムとして、必要に応じて自然科学と人文社会科学の手法を統合しながら対象にアプローチすることで、その持続可能性を診断し、これを持続可能なシステムとするための臨床環境学的な研究を行っています。</p> <p>本公募では、当講座 (https://www.eps.nagoya-u.ac.jp/~geosys/) の現教員が取り組む農業・農村地域、森林地域、乾燥地域等の自然資源と人間社会を対象とした持続可能な社会生態システムのデザインに関する研究教育と密接に関連し、当専攻の地球惑星科学系 (https://www.eps.nagoya-u.ac.jp/index_gs.html) において相補的な効果が期待できる研究分野で実績・意欲のある人材を求めます。また当研究科が取り組んできた新しい学問分野である臨床環境学に基づいた超学際的研究・教育を、当研究科附属持続的共発展教育研究センター (https://ercscd.env.nagoya-u.ac.jp/) や、当専攻内外の教員・学生らとともに実践・発展させ、新しい環境学の構築に意欲的に取り組む人材を求めます。担当授業科目等は下記のとおりです。</p> <p><担当授業科目></p> <p>(1) 大学院（環境学研究科） 博士前期課程：環境学フィールドセミナー、地球環境システム学セミナー、 博士後期課程：臨床環境学研修、地球環境システム学セミナー</p> <p>(2) 学部（理学部及び全学教育） 地球惑星科学特別研究、地球惑星科学に関する学生実験・野外実習</p> <p><その他> 当系の教務・庶務等に関する業務の担当。</p>	
		[勤務地] 愛知県名古屋市千種区	
		[募集人員] 助教 1名	
		[着任時期] 2025年4月1日以降のなるべく早い時期	
4	募集研究分野	大分類	環境学、農学、数物系科学
		小分類	環境保全学、社会経済農学、森林圏科学、地球惑星科学
5	勤務形態	常勤（任期5年・テニュアトラック教員）テニュアトラック教員は任期末にテニュア付与に係る審査を受け合格した場合には任期無しとなる。詳しくは以下を参照。 https://education.joureikun.jp/thers_ac/act/content/content110001177.htm	
6	応募資格	<p>[必要な特定分野の資格・条件（学位などを含む）・専門性等の詳細]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・博士の学位を有すること（2025年3月末までに取得見込みも可）。 ・環境学およびそれに関連する研究分野において、優れた研究実績を持ち、当研究科の教員と連携し、分野横断的研究の推進にも貢献できること。 ・当研究科の中長期ビジョンである地球規模課題への対応と新たな知の創造に貢献する研究を行えること。 ・大学院および学部の教育（実験・野外実習等を含む）および当研究科附属持続的共発展教育研究センターの活動を行えること。 ・教育・研究指導を日本語で行える能力を持つこと。ただし、応募した時点でその能力がなければ5年程度でそのレベルに達すること。 	
7	待遇	<p>[採用後の待遇（給与、勤務時間、休日、雇用期間、保険等）]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東海国立大学機構職員就業規則の定めるところによります。 https://education.joureikun.jp/thers_ac/act/frame/frame110010928.htm ・給与は本学において定める年俸制とします。 	

8	応募期間	2024年11月7日～2024年12月20日(必着)
9	応募・選考結果通知連絡先	<p>[応募方法(提出書類の送付先)]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) カバーレター: 様式自由。 2) 履歴書 3) これまでの研究経過および教育実績(1000字程度) 4) 研究業績目録 以下のA～Dの4つのカテゴリーに分けて記載する。 <ol style="list-style-type: none"> A 査読のある原著論文 B 査読のない原著論文 C 著書 D その他 5) 主な論文(3編以内)のDOI 6) 今後の研究・教育計画(1000字程度) 7) 競争的資金獲得実績 8) 所見を求めうる方の2名の氏名、所属、連絡先 9) 「みなし輸出」における「特定類型該当性の自己申告書」 <p>上記1)～8)を1つのPDFファイルとし、9)の電子ファイルとともに添付書類として、下記の問い合わせ先に記載の電子メールアドレスへ送信のこと 問い合わせ先: 名古屋大学大学院環境学研究科 道林 克禎 電話:052-789-3558 e-mail: apply-jyokyo@eps.nagoya-u.ac.jp</p>
10	その他	<p>[選考内容(選考方法、採否の決定)]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・書類審査のほか、選考過程でセミナー形式の講演を依頼する場合があります。 <p>・名古屋大学は業績(研究業績、教育業績、社会的貢献、人物を含む。)の評価において同等と認められた場合には、女性を積極的に採用します。</p> <p>・提出された書類については、本選考以外の目的には使用しません。</p> <p>・面接に要する交通費は支給しません。</p> <p>・2021年11月「外国為替及び外国貿易法」(外為法)に基づく「みなし輸出」における管理対象の明確化に伴い、大学・研究機関における教職員の機微技術の提供の一部が外為法の管理対象となりました。これに伴い、教職員として本学に応募される際、「類型該当判断のフローチャート」に基づく「特定類型該当性の自己申告書」の提出が必要となります。また、採用時には「誓約書」の提出が必要となります。フローチャートや特定類型該当性の自己申告書は以下からダウンロードしてください。 https://nuss.nagoya-u.ac.jp/s/FYRF28GEe.jHPyEo</p>